

芦屋大学	臨床教育学部	教育学科	コース	分野	大学の理念・目標	学部の目的	学科の目的	アドミッションポリシー	カリキュラムポリシー	ディプロマポリシー
		教育学科	教育学	教養教育	(建学の精神) 人それぞれに天職に生きる			大学のアドミッションポリシー 建学の精神と実践綱領を踏まえて、自己の個性や長所を見出し、それを伸ばし、将来の自己実現や人間力の養成に関心を持ちつつ、教育に関する知識と技能を修得するための基礎学力・思考力・判断力・表現力・意欲・態度・積極性を有している人を求める。	大学のアドミッションポリシー 知覚の発達・身体的発達・社会的発達を人間力の向上と捉え、建学の精神と実践綱領に則り、初年次から一人ひとりの学生を支援する教育体制を整える。これを踏まえて専門的知識の修得・行動力・思考力・判断力・技能・問題解決力を身に付け、個性と長所を發揮する力を養成できる教育課程を編成する。	大学のディプロマポリシー 建学の精神である「人それぞれ天職に生きる」と実践綱領を自覚し、在学中に専門的知識・技能・人間力を身に付け、天職を通して個性や長所を發揮できる資質や能力を有している人に卒業を認定し、学位を授与する。
			心理学							
国際教養学	臨床教育学部のディプロマポリシー 臨床教育学部に在籍し、教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、各分野の単位を修得することを学位授与の基準とする。									
			スポーツ教育	スポーツ教育	[独立と自由] 自由の本質をわきまえ、独立の心を養う [創造と奉仕] 創造力を培い、すすんで社会に奉仕する [遵法と敬愛] 規律を守り、互いに敬愛する心を育てる 大学の使命・目的は、豊かな教養と人間性を身に付け、生きがいを持って社会に貢献できる人材を育成することである。そのため建学の精神に併せて実践綱領として「独立と自由」「創造と奉仕」「遵法と敬愛」を謳い、本学の教育に反映させてきた。豊かな教養と人間性を身に付け、自立し、社会に貢献できる力、具体的には、考えて行動し、チーム力を大切にす、目に見えない学力を「人間力」と位置づけ、社会で即戦力となる「人間力」を備えた人材の育成こそ時代の要請であり、本学の目的である。 (求める学生像) 1. 自分の個性や適性について考え、自分の持てる力、可能性を切り開いていこうとしている人 2. これまで体験したことや人との出会いなどを整理し、大学で学びたいと思う動機をはっきり持っている人 3. 未来の夢について、これから主体的に取り組んでいきたいことについて、情熱をもって人に伝えることができる人	学部の目的である教育・研究を通じて、実社会での教育実践能力を養成することを目的とする。 個人の可能性を引き出す教育とともに、幼児、児童及び生徒等の教育の困難に直面している保護者・教師の問題を研究し、これらの問題を解決する能力を伸ばす教育について教育・研究することを目的とする。	学部の目的である教育・研究を通じて、実社会での教育実践能力を養成することを目的とする。 個人の可能性を引き出す教育とともに、幼児、児童及び生徒等の教育の困難に直面している保護者・教師の問題を研究し、これらの問題を解決する能力を伸ばす教育について教育・研究することを目的とする。	教育学科のアドミッションポリシー 教育学科は教育や心理、異文化に関心を持ち、それらについての専門的知識を探究する教育学・心理学・スポーツ教育・国際教養学・ダンスの各コースでの教育課程を学修するための基礎学力・基礎体力・意欲を有した人を求める。各コースでの学修を通して将来の進路を探索しながら人間力の形成を目指す人を求める。 1. 教育に関心を持ち、教育関係の仕事に主体的に取り組むための基礎学力・思考力・判断力・表現力・意欲・態度を有する人。 2. 人間の心理、教育心理、人間発達、カウンセリングに関心がある人。将来、教育現場や職場・地域で心理学の知識を活かして活躍したい人。教育カウンセラーや心理カウンセラーとして困難をかかえた人々を支援したい人。 3. 中学校(社会・保健体育・英語)・高等学校(公民・保健体育・英語)の教員を目指す人。地域のスポーツ・社会体育・スポーツビジネスの世界で活躍することを目指す人。 4. 異文化理解や外国語習得によって自己理解を深め、他者との関りを尊重し、主体的な研究活動を通して、多様な価値観によって構成される国際社会の発展に貢献することを目指す人。 5. 大学教育にふさわしい学問的アプローチを行いながら、ダンスの技術を磨き、ダンスを通じて自己を表現できるように、将来教員・指導者や、ダンスパフォーマーを目指す基礎的知識・技能及び高いモチベーションを有する人。	臨床教育学部のアドミッションポリシー 臨床教育学部のアドミッションポリシーを踏まえて、各コースの専門科目、およびスポーツ・ダンスに関する実技や科学を理解できるように教育課程を編成する。さらに理論を実践に活用できる能力を養成する学修方法を整える。また、管理栄養・衛生・身体についての知識やメカニズム、心身の健全な発育・発達を学修し、さまざまな年代や分野におけるダンスを含めたスポーツ教育に関する知識や技能を修得できるような教育課程を編成する。卒業後の進路を明確にできるように学年進行に伴いキャリア関係の科目を設置する。入学時から、初年次教育とキャリア教育に則った教育課程を編成する。	教育学科のディプロマポリシー 教育学科の教育課程の単位を修得し、下記の能力を身に付けた人に卒業を認定し、学位を授与する。 1. 幅広い専門教養と専門的知識を有している人。 2. 中学校・高等学校教員としての目標をはっきりと持ち、教育に主体的・自律的に取り組み、教育者やリーダーの資質や実践力を有している人。 3. 将来の進路を明確にし、卒業後に教育や心理、スポーツに関する専門的知識や技能を活用して個性や長所を發揮できる人。 4. 外国語を駆使するとともに異文化を理解し自己理解を深化させ、他者とコミュニケーションをとりつつ国際社会に貢献できる人。 5. ダンスを通じて自己表現ができ、ダンス関係の知識・技能を持ち、活用できる人。
ダンス	教育学科のディプロマポリシー 教育学科の教育課程の単位を修得し、下記の能力を身に付けた人に卒業を認定し、学位を授与する。 1. 幅広い専門教養と専門的知識を有している人。 2. 中学校・高等学校教員としての目標をはっきりと持ち、教育に主体的・自律的に取り組み、教育者やリーダーの資質や実践力を有している人。 3. 将来の進路を明確にし、卒業後に教育や心理、スポーツに関する専門的知識や技能を活用して個性や長所を發揮できる人。 4. 外国語を駆使するとともに異文化を理解し自己理解を深化させ、他者とコミュニケーションをとりつつ国際社会に貢献できる人。 5. ダンスを通じて自己表現ができ、ダンス関係の知識・技能を持ち、活用できる人。									
		児童教育	幼児・児童教育	教職教育			学部の目的である教育・研究を通じて、幼児期及び児童期の教育の理解と実践能力を養成することを目的とする。	児童教育学科のアドミッションポリシー 子どもは次代を担う大切な人材である。彼らがすくすくと豊かに育つようにかかわりサポートするのは大人の責任である。幼稚園や小学校の教師には、子どもが夢や目標を持ち、彼らがそれを達成するように寄り添い、励まし導く教育力が求められる。一方、家庭や地域社会の教育力が低下している今日、地域社会と密接した関係にある幼稚園や小学校が連携して子どもの教育にあたる必要がある。児童教育学科は、このような社会の期待に応える意欲のある人を求める。 1. 幼児期、児童期の子どもの心身の発達に強い関心のある人。 2. 幼稚園教員、小学校教員、特別支援学校教員として将来の目的をはっきりと持っている人。 3. 子どもを取り巻く地域社会の発展に寄与することを目指す人。	児童教育学科のアドミッションポリシー 優れた教育者の養成を目指し、教養、専門性、実践力、社会性、自己実現力などの学士力を養うため、教育課程の編成・実施・教科の実践的指導・生徒指導/教育相談・学級/学校経営・学校教育と教員のあり方に関する科目を設置し、体系的な教育課程を編成する。卒業後の進路を明確にできるように学年進行に伴いキャリア関係の科目を設置する。入学時から、初年次教育とキャリア教育に則った教育課程を編成する。	児童教育学科のディプロマポリシー 児童教育学科の教育課程の単位を修得し、下記の能力を身に付けた人に卒業を認定し、学位を授与する。 1. 幼児期、児童期の子どもの心身の発達に関する知識を幅広く習得し、教育現場で必要とされる実践力を身に付けている人。 2. 幼稚園教員、小学校教員、特別支援学校教員としての目標をはっきりと持ち、教育に主体的・自律的に取り組むことができる人。 3. 子どもを取り巻く地域社会の発展に寄与することができる人。
		特別支援教育	児童教育学科のディプロマポリシー 児童教育学科の教育課程の単位を修得し、下記の能力を身に付けた人に卒業を認定し、学位を授与する。 1. 幼児期、児童期の子どもの心身の発達に関する知識を幅広く習得し、教育現場で必要とされる実践力を身に付けている人。 2. 幼稚園教員、小学校教員、特別支援学校教員としての目標をはっきりと持ち、教育に主体的・自律的に取り組むことができる人。 3. 子どもを取り巻く地域社会の発展に寄与することができる人。							

大学院の目的

教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、「人それぞれ天職に生きる」の建学の精神のもとで、学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥をきわめ、文化の進展に寄与することを目的とする。

1. 博士課程教育学専攻

(1) アドミッションポリシー

本専攻は教育学・教育文化学・教育心理学・特別支援教育の各分野を研究する教育学関連分野と、経営学・産業技術・産業心理・人間環境などの各分野を教育的観点から研究する経営教育分野からなっている。また、この博士課程は標準修業年限2年の前期課程と標準修業年限3年の後期課程とに区分されている。

後期課程は、上記専攻分野において自立した研究者として研究活動を行う者、またはその他の高度に専門的な業務に従事しようとする者を養成することを目的としている。前期課程は、後期課程の基礎として、上記専攻分野において高度な専門的研究力量と豊かな学識を養うことをめざすとともに、高度の専門性を有する職業等に従事しようとする者を受け入れている。

なお、本専攻は学位取得や再教育を目的とする大学・高校などの現職教員、専修免許状のための継続教育などを目的とする者、一般社会人にも開かれている。したがって入学試験においては、将来の進路希望・研究関心・研究テーマを慎重に審査して入学者の決定を行っている。

(2) カリキュラムポリシー

教育学関連分野においては、教育学の理論と実践及び教授法・指導法を学問的に研究することを目的としている。特に、学校教育現場の具体的諸問題を臨床教育的立場から研究し学校教育に生かすことを重視している。

そのため、本学教育相談所と連携し、発達障害者の理解と教育に向けて教育学・心理学・脳科学等の各分野から総合的に研究するカリキュラムを編成するなど独自の取り組みを行っている。

経営教育学の分野においては産業社会のリーダーとしての資質を有し、産学能力を身につけた高度専門職業人の育成を目的としている。特に、キャリア開発に関する先進的な研究を行っている。

(3) ディプロマポリシー

①前期修了者には修士学位が与えられる。その要件は以下による。

1. 所定の年限在学し所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格した者。
2. 教育学分野における高度な専門的研究力量と豊かな学識を有すると認められる者。または、経営教育の分野における高度な専門的研究力量と豊かな学識を修得し、産業社会のリーダーとしての資質を有すると認められる者。

②後期修了者には博士学位が与えられる。その要件は以下による。

1. 所定の年限在学し必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者。
2. 各専門分野において自立した研究者としての高い研究能力と豊かな学識を有し、新たな理論的枠組や独創的知見を有すると認められる者。

2. 修士課程技術教育専攻

(1) アドミッションポリシー

本専攻は、i 学校の技術科教育に関する技術教育分野、ii 一般的なキャリア開発分野、iii 現代産業技術や情報に関する産業技術分野、iv 自然・社会・文化に関する人間環境分野の4分野からなっており、これらの分野に関する高度な専門的研究力量と豊かな学識を養うことをめざすとともに、関連する高度の専門性を有する職業等に従事しようとする者を受け入れている。

専修免許状（中学校技術科）のための継続教育を目的とする者、一般社会人にも開かれている。

(2) カリキュラムポリシー

i 技術教育分野では、学校教育における技術科教育のあり方に関する演習を中核に据え、広く一般普通教育の中に技術教育をどう位置づけるべきかについて教育・研究している。

ii キャリア開発分野では、技術と経営の面から産業能力の向上を図り、キャリア開発分野の研究課題に先進的に取り組むための能力を育成している。

iii 産業技術分野では、現代の産業・情報技術に関する高度な知識と応用力を身につけ、企業や教育現場等においてその能力を発揮できる者を育成している。

iv 人間環境分野では、人間を取り巻く環境を自然・社会・文化を基本にして捉え、人間と環境のあり方を深く考究する能力を育成している。

本専攻ではこれらの分野についての総合的な教育・研究をめざしている。

(3) ディプロマポリシー

修了者には修士学位が与えられる。その要件は以下による。

1. 所定の年限在学し所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格した者。
2. 技術教育に関する高度な専門的研究力量と豊かな学識を有すると認められる者。

3. 修士課程英語英文学専攻

(1) アドミッションポリシー

本専攻は、i 英語学・英語教育分野、ii 国際文化分野、iii 英米文学・文化分野の3分野からなっており、これらの分野に関する高度な専門的研究力量と豊かな学識を養うことをめざすとともに、優れた英語指導者、国際社会で活躍できる人材、英語英文学に関する研究者などを目指す者を受け入れている。専修免許状（中学校・高校英語科）のための継続教育を目的とする者、一般社会人にも開かれている。

(2) カリキュラムポリシー

i 英語学・英語教育分野では、国内外の多様な英語教育の方法論と種々の実践的技能の教育・研究を行っている。

ii 国際文化分野では、実践的な英語力と国際的な完成を磨き、未来の国際社会で活躍できる人材を育成している。

iii 英米文学・文化分野では、英米文学・文化の研究を通して、「英語圏文化」を包括的に理解し、さらに高度な研究をめざす人材を育成している。なお、「英語」が有する本来の意味の追求のみならず、

言語使用の場の持つ意味（社会的コンテクスト）や広がり（国際性）、さらに多言語・多文学・他文化との相互関係と比較も研究対象としている。

(3) ディプロマポリシー

修了者には修士学位が与えられる。その要件は以下による。

1. 所定の年限在学し所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格した者。
2. 英語英文学に関する高度な専門的研究力量と豊かな学識を有すると認められる者。